

別紙 3

◆「食と教育」学術研究の公募について（牛乳食育研究会）

乳を活用した「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

1. 募集（申請）期間

2018年10月1日（月）～2018年12月31日（月）

2. 募集テーマ

(1) 特定研究

No	テーマ	備考
①	「乳」に係る教育プログラムの開発と検証研究	キーワード：ヘルスリテラシー、食文化、乳特有の教育的価値
②	「乳」の生産・製造・流通等に係る教育的プログラムの開発と検証研究	キーワード：牧場の多面的な機能、牛乳工場の製造工程における工夫、牛乳のサプライチェーン特性
③	「乳」の持続可能な開発目標（SDGs）に係る教育的プログラム開発と検証研究	キーワード：社会、経済、環境、栄養
④	「乳」の学校給食における現代的意義に関する研究	キーワード：栄養バランス、子どもの貧困、学校給食経営

(2) 一般研究

No	テーマ	備考
⑤	「乳」に関する教育的視点からの研究	補足：「特定研究」以外のテーマで学校・園（幼・保、小・中・高・大）、家庭、地域、社会、企業などにおける教育の場を活用した研究。 ※教育目的以外のマーケティングコミュニケーションは除く

なお、全てのテーマは「乳」に係る研究であり、「乳」とは、「食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」である。また、「教育」とは、学校教育、家庭教育、社会教育などである。

3. 研究採用数

上記をテーマとする研究計画の応募申請の中から4.応募資格に記載のある8件程度を採用し委託する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（大学院生含む）、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託研究期間

同一調査・研究課題に対する委託期間は、1年単位とし、原則として1年とする。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、その限りではない。申請書に全体の研究計画の概要の他、各年の研究計画の概要がわかるよう記載すること。なお、複数年の場合には収支及び研究の中間報告を毎年実施する。

6. 委託研究費

年間1件当たり原則として70万円(消費税込)以内とする。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円(消費税込)以内とする。

7. 選考方法

「食と教育」評価委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

評価委員<審査委員会>

委員長	角屋 重樹 (日本体育大学教育研究科 研究科長)
副委員長	鈴木 由美子 (広島大学大学院教育学研究科 教授)
委員	石井 雅幸 (大妻女子大学家政学部児童学科 教授)
委員	木下 博義 (広島大学大学院教育学研究科 准教授)
委員	木村 純子 (法政大学経営学部 教授)
委員	児玉 浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授・学科長)
委員	田中 博之 (早稲田大学教職大学院 教授)

8. お問い合わせ先等

詳しい内容は、次のWebサイトから学術研究実施要領をダウンロードしてご確認ください。

<乳の学術連合「学術研究の公募」><http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/index.html>

<牛乳食育研究会>

乳の特徴を活用した食と教育の研究活動を通して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得、食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みをもって、生活者が生涯を通じて心豊かで健康的な生活を実現することに貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年10月設立。

代表幹事 角屋重樹(日本体育大学教育研究科 研究科長)

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番地1号 築地三井ビル5階
一般社団法人Jミルク内「牛乳食育研究会」事務局 担当：前 いずみ
電話：03-6226-6352 FAX：03-6226-6354 E-mail：mae@j-milk.jp

2019年度「乳の学術連合」学術研究

「食と教育」 学術研究の公募

2018
12/31^月

申請締切日

「牛乳食育研究会」は、一般社団法人「ミルク」と共同して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得や食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みを推進するため、乳を活用した「食と教育」に関する学術研究を公募します。

募集研究テーマ

■ 特定研究テーマ

- ①「乳」に係る教育プログラムの開発と検証研究
キーワード：ヘルスリテラシー、食文化、乳特有の教育的価値
- ②「乳」の生産・製造・流通等に係る教育的プログラムの開発と検証研究
キーワード：牧場の多面的な機能、牛乳工場の製造工程における工夫、牛乳のサプライチェーン特性
- ③「乳」の持続可能な開発目標(SDGs)に係る教育的プログラム開発と検証研究
キーワード：社会、経済、環境、栄養
- ④「乳」の学校給食における現代的意義に関する研究
キーワード：栄養バランス、子どもの貧困、学校給食経営

■ 一般研究テーマ

- ⑤「乳」に関する教育的視点からの研究
「特定研究」以外のテーマで学校・園(幼・保、小・中・高・大)、家庭、地域、社会、企業などにおける教育の場を活用した研究

上記テーマへの申請のうち 8 件程度を採用します。

※全てのテーマは「乳」に係る研究です。

※「乳」とは、「食品としての牛乳乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指します。

※「教育」とは、学校教育、家庭教育、社会教育などを指します。

応募資格 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とします。

委託研究費 年間1件当たり原則として70万円(消費税込)以内とします。ただし、海外渡航調査など多額な費用が含まれる場合、100万円(消費税込)以内とします。

委託研究期間 同一調査・研究課題に対する委託期間は、原則として1年とします。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、申請書に全体の研究計画の概要の他、各年の研究計画の概要を明記してください。

選考方法 評価委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

評価委員長 角 屋 重 樹 (日本体育大学教育研究科 研究科長)

副委員長 鈴木由美子 (広島大学大学院教育学研究科 教授)

委員 石 井 雅 幸 (大妻女子大学家政学部児童学科 教授)

(委員は五十音順) 木 下 博 義 (広島大学大学院教育学研究科 准教授)

木 村 純 子 (法政大学経営学部 教授)

児 玉 浩 子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授・学科長)

田 中 博 之 (早稲田大学教職大学院 教授)

詳しくはWebから学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://m-alliance.j-milk.jp/koubo/2019/>

一般社団法人「ミルク」内「牛乳食育研究会」事務局 担当：前 いずみ E-mail: mae@j-milk.jp

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

